

公益社団法人 日本青年会議所 2021年度 四国地区 徳島ブロック協議会

組織強化委員会 委員長 古宅 雅俊

現 状 分 析

2015年から2020年末までの5年間で徳島ブロック全体の会員数は約2割減し、7LOM中3LOMは期首会員が15名以下となっており、存続が危機的な状況にあります。出席率が低下していることからメンバー全員が所属LOMの会員数の現状と将来が把握できておらず、今後活動が困難になる可能性が考えられることから、会員拡大につながる個々の意識改革は重要な課題であります。

また、徳島ブロック全体の会員数は230名いる中、入会3年未満のキャリアが浅い会員が88名と約38%を占めており、経験豊富な豪傑と呼ばれるメンバーの割合が減少しています。政策立案実行団体である我々は、激動の時代を生き抜くために、社会により良い変化を巻き起こせる自覚と責任を持ったJAYCEEの育成が必要です。

そして、現在様々なインターネット上の広報媒体がある中、掲載したからと言ってアクセスされなければ広報活動は意味を成さず、各年代で使用頻度の高いSNSは異なるため、JC活動を内外に周知するためには多種多様なSNSを用いた的確な情報発信、フォロワー数の増加が必要です。

連 携 概 要

**■ブロックアカデミー事業の支援・推進事業の実施**  
政策立案実行団体として、地域の明るい豊かな社会の実現を目指し活動している意義を若いメンバーに伝えるのは豪傑の役割であり、各地青年会議所が今後成長していくためには入会3年未満の会員に対して、活動への理解を深め、地域のまちづくり、ひとづくりに能動的に活動し、周りのメンバーを巻き込み地域に好影響を与えるJAYCEEの誕生を目的とします。

**■LOMへの拡大支援事業の実施**  
各LOMの新入会員候補者に対するアプローチ方法や結果を取りまとめ、成功例や反省点等の課題を委員会で数値化したものを徳島ブロック内にて共有しそれによりLOM間で同じ目標のもと切磋琢磨することで、触発されたメンバーが会員拡大につなげることを目的とします。

**■HPの運用・拡充による広報**  
多くの県民、JC関係者にJC活動、普段の活動風景を幅広く発信するために、ホームページ、Facebook、Instagramを活用し、アクセス数を伸ばしフォロワー数を増加させ、青年会議所活動を周知することを目的とし、ひいては会員拡大につなげます。

政 策 手 法

**■ブロックアカデミー事業の支援・推進事業の実施**  
会員数、出席率が共に低下しており、このままではJCの活動を存続していくことが困難になる可能性があることから、4月は豪傑による主に入会3年未満の会員に対して豪傑アカデミー事業を企画、実施します。目標に向かって我武者羅に行動し、周りのメンバーを巻き込み地域に波及させ、好影響を与えるという豪傑の在り方をメンバーに伝え意識の向上を促し、7LOMの入会歴の浅いメンバーがアカデミーに参加することで他LOMとの交流が図れ、新たな出会いにつながり、そして9月に入会3年未満の会員と入会3年以上の会員が共に日本JCのアカデミーを受けることでシナジー効果が生まれJAYCEEとしての資質が向上し新たな豪傑の誕生の一助とします。

**■LOMへの拡大支援事業の実施**  
減少傾向にある会員数を増加させるため各地会員会議所会員とつながりのある民間企業や各種団体に対し各LOMで調査をしていただき3か月に一度、入会候補者、紹介ルート、推薦人との関係性、アプローチ方法、結果をリストアップし、それにより入会率の数値化、アプローチ方法、成功例や反省点の共有ができ各LOMから全メンバーに対してシェアすることで個々の意識改革につながり、さらにLOM間で同じ目標のもと切磋琢磨することで入会率向上の一助とします。

**■HPの運用・拡充による広報**  
掲載したからと言ってアクセスされなければ意味を成さないため、各LOMから月に一度、例会または普段の活動風景を送っていただきホームページ、SNSを今まで以上にアクティブに更新し、多くの市民が検索することができるハッシュタグの活用、メンバー個人の所有するSNSアカウントからのタグ付け、ホームページからのリンクを実施し、幅広い層に見てもらうことでフォロワー数、アクセス数を増やします。

パ ー ト ナ ー

【アカデミー事業】公益社団法人日本青年会議所(実施支援)  
徳島ブロック協議会内各LOM(政策協力・実施支援)

【LOM拡大支援】徳島ブロック協議会内各LOM(政策協力・実施支援)

【HPの運用・拡充】徳島ブロック協議会内各LOM(政策協力・実施支援)